

## パシフィコ・エナジー兵庫県赤穂郡で発電容量102メガワットの 大型太陽光発電所の建設を開始

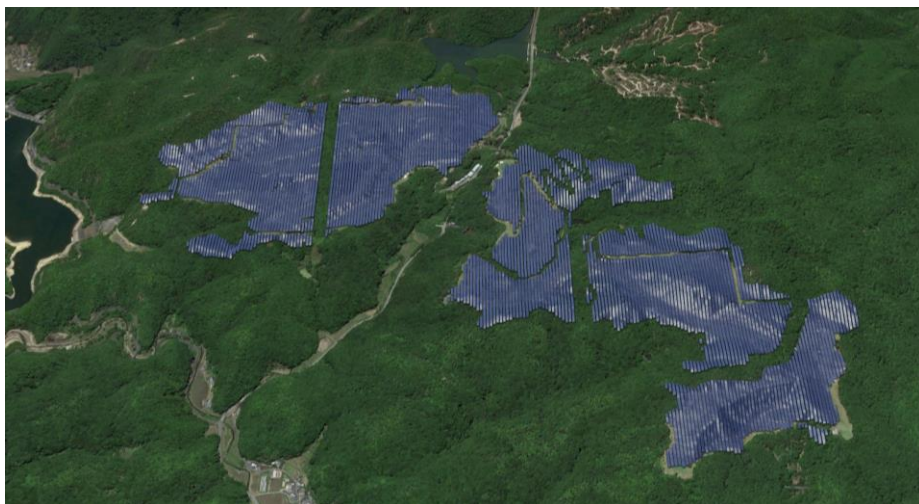
【2019年4月10日】

パシフィコ・エナジー株式会社（本社：東京都港区）は、兵庫県赤穂郡において、発電容量102.144メガワット（直流ベース）の太陽光発電所の建設を開始します。

赤穂メガソーラー発電所は、兵庫県赤穂郡のゴルフ場跡地を利用して建設され、2021年春頃の運転開始を予定しております。完成後には、年間約125百万キロワット時の発電量を想定しており、年間およそ5万トンの二酸化炭素排出削減に貢献します。発電した電力は、電気事業者による再生可能エネルギー電気の調達に関する特別措置法に基づき、キロワット時当たり24円で関西電力株式会社に20年間全量販売されます。

株式会社三菱UFJ銀行がアレンジャーとしてシンジケート団を組成し、三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社がパシフィコ・エナジー赤穂合同会社のファイナンシャルアドバイザーを務め、ベーカー＆マッケンジー法律事務所（外国法共同事業）がパシフィコ・エナジー赤穂合同会社の法律顧問を務めました。

当社は、赤穂メガソーラー発電所を含め、これまで日本全国各地で計11件、合計容量930メガワット（直流ベース）の建設を行っており、うち4件、合計容量227メガワット（直流ベース）の発電所の完工を迎え、商業運転を開始しています。当社は、これまで培った発電事業開発・建設・運営の経験と蓄積したノウハウを活かし、地域社会・環境と共存しながら、安全・安定・安心な国産クリーン電源普及のため、太陽光発電所の開発を推進してまいります。



赤穂メガソーラー発電所 完成イメージ図

日本における問い合わせ先

広報担当部 電話:03-4540-7830 / Email: [info@pacificoenergy.jp](mailto:info@pacificoenergy.jp)

Website <http://www.pacificoenergy.jp/info/>